

<p><b>共生社会創造特殊講義 I（共生社会創造研究基礎論）</b></p> <p>Special Lecture on Creation of Co-existing Society I (Research Design in the Study of Co-existing Society)</p>	<p>(教員名) 阿久澤 麻理子、新ヶ江 章友、 柏木 宏</p>	
<p>共生社会創造研究領域 特殊講義</p>	<p>講義科目</p>	<p>必修</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2018 年度・前期</p>
<p><b>I 科目の主題</b></p> <p>共生社会の創造に関わる諸問題についての研究の進め方、およびその研究の成果を論文にまとめるために必要となるさまざまな技法や方法論について講じる。あらかじめ、「創造都市」や「共生社会」といった基礎的な概念について一定の理解を得ておくことが望まれる。受講生の調査・研究の進捗に合わせて、特殊講義 II と連動する。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b></p> <p>共生社会創造という理念的概念と関連する社会事象、社会活動についてそれを分析、評価する諸観点についてインターディシプリナリーな視野から探求し、受講生の研究フィールドに適合するものについて知り、その理解を深める。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b></p> <p>受講者の研究テーマと共生社会創造研究領域の講義担当教員の研究領域とどのような関係にあるのかを確認したうえで具体的な講義の構成、進行について決定するが、提供する講義内容は以下のようなものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業の進め方の説明、院生の希望の聴取</li> <li>2 受講生の研究テーマと関連する教育学・社会学の知見</li> <li>3 受講生の研究テーマと関連する文化人類学、福祉政策・福祉社会学の知見</li> <li>4 受講生の研究テーマと関連する政策、市民活動の動向</li> <li>5 受講生の研究をすすめるための調査・研究方法の紹介</li> </ol>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b></p> <p>学生自身の実践的フィールド、研究対象について、その社会的意義と学問的意義を検討する</p>		
<p><b>V 評価方法</b></p> <p>平常点（出席回数や授業での発表内容、議論の整合性など）による</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b></p> <p>自分の実践や研究業績について、既存のどのような学問的視点を中心に深めたいのか、そしてその理由を合理的に提示できるように準備しておくこと。</p>		
<p><b>VII 教材</b></p> <p>授業中に適宜指示する。 また授業中に資料を配布する。</p>		